

お薬の専門家。 それが、薬剤師です。



患者さんの情報をチェックしながら、
お薬を的確に調剤してお渡します。

医師が処方する医薬品は「医療用医薬品」と呼ばれ、
わたしたちの健康を守るうえで欠かせません。お薬の専門家である薬剤師は
「調剤」を通じて、適切な医療用医薬品を患者さんにお渡しし、
正しく飲んでいただけるようにご説明するという大切な仕事をしています。
薬剤師は、今までに服用した薬のことなどを患者さんから聞きとり、
「お薬手帳」や「薬剤服用歴(薬歴)」などからも総合的に判断して、
その患者さんに合ったお薬が処方されているか確認します。
また、お薬を調剤する際に疑問がある場合には、
「疑義照会」といって処方医への問い合わせが義務付けられています。

適切なお薬をお渡しするために、
「お薬手帳」は忘れずにお持ちください。

「お薬手帳」には、現在までに服用されている薬の情報や、
過去の副作用・アレルギーの記録など、お薬を適切に
服用いただくための大切な情報が記載されています。
薬局を訪れる際は、忘れずにお持ちください。



- ◎ 医療機関にかかると時にはお薬手帳を必ず持って行きますよう。
- ◎ 一般用医薬品(OTC医薬品)・健康食品の使用も記録しておきましょう。
- ◎ お薬手帳は1冊にまとめて、いつでも持ち出せるよう、いつでも同じ場所に保管しましょう。